

同一申請で複数台数申請の場合の記入例（車両）

様式第1（その2の1）

環境配慮型先進トラック・バス導入加速事業実施計画書（車両）

リースを利用する場合の補助対象車両使用者（貸渡し先）	氏名又は名称 住所:			申請者がリース会社の場合にのみ記載します。
補助対象車両の種類（EV、PHV、HV、NGV等）型式が同じ場合は、台数分を記入できます。 ※型式が同じで補助対象経費が異なる場合は、異なる台数分様式第1（その2の1）を作成してください。	登録番号 車台番号	別添資料	台数が多い場合は、別添資料と記載してください。	
	車名 ^{注1} : ***×○ 通称名 ^{注1} : ジャタ 型式 ^{注1} : JA-TA 環境配慮型先進車の種類*: EV PHV HV NGV 区分 ^{注2} : 大型 中型 小型/トラック バス 台数 ^{注3} : 3台 抵当権の有無*: 有 無 本事業（補助対象車両の導入）に係る本補助金以外の国の補助金の交付または交付申請の有無: 有 無			
補助対象車両がNGVの場合の使用計画(主な使用区間) ^{注6}	発地(市町村名)		距離	km
	着地(市町村名)			
	経路			
所要経費		金額		
(1)補助対象経費(補助対象車両価格) ^{注4}		5,000,000円		
(2)寄付金、補助金その他の収入		0円		
(3)補助対象経費支出予定額		5,000,000円		
(4)基準額 ^{注5}		360,000円		
(5)補助金所要額 (3)と(4)を比較して少ない方の額(算出された額に車種別、型式別に事前登録されている金額です。を切り捨てるものとする。)		360,000円		
(6)補助金交付申請額((5)×台数)		1,080,000円		

注1 交付規程別表注1に規定する車両情報に記載されている車名、通称名型式であること。
 注2 補助対象車両の区分における大型、中型、小型とは、交付規程別紙1の1②の表第1欄に記載の区分のとおりとする。特種車の場合は改造前のベース車両について記載する。
 注3 車名、型式、環境配慮型先進車の種類、区分（以下「区分等」という。）が同じ車両の申請台数を記載する（交付規程第5条第1項において補助対象車両を既に補助対象車両を購入済みである場合を除く）。なお、種類等が異なる場合は、本様式（その2の1）を複数枚記載して添付する。
 注4 補助対象経費に係る消費税のうち、仕入控除を行う場合における仕入控除の対象となる消費税相当分については、補助対象としない。
 注5 交付規程別表注2の規定により算定した額とする。その際、架装物等動力構造以外の部分の変更に係る費用を除いて実施要領別表第3欄に掲げる経費を算定した場合は、これら費用の内訳に係る資料を添付するものとする。
 注6 使用計画において、高速走行を主体とした使用方法であること。

別添資料の記入例（車両の場合）

複数台数を一度に申請する場合（別添資料）

番号	登録番号	車台番号
1	品川〇〇さ◇◇◇	+++ - 1 2 3 4 5
2	品川〇〇し◇◇◇	+++ - 1 2 3 4 6
3	練馬〇〇し◇◇◇	+++ - 1 2 3 4 7
4		
5		
6		